

平成 27 年度第 4 回茨木市立保育所の民営化
に伴う移管先法人選考委員会

議事要旨

- 1 日 時 平成 27 年 7 月 6 日（月）午前 9 時 20 分～午前 11 時 35 分
- 2 場 所 社会福祉法人 ○○○○会 ○○○○園
- 3 出席者（順不同）
 - (1) 選考委員会委員（◎は委員長）
◎小田委員、新野委員、齊藤委員、吉村勝樹委員、岡委員、吉村文男委員、
松岡委員、赤土委員、楚和委員
 - (2) 法人
○○理事長、○○副園長、○○経理担当
 - (3) 事務局
佐藤こども育成部長、中井保育幼稚園課長、瀧川民営化担当参事、
西田保育幼稚園課職員
- 4 案 件
 - (1) 視察について
 - (2) 選考項目におけるヒアリングについて
 - (3) その他
- 5 発言要旨

委員長： それでは、ただいまから第 4 回茨木市立保育所の民営化に伴う移管先法人選考委員会を開催させていただきます。

本日は、ご応募いただきました、○○○○会さんが現在運営されておられます、平成○年 4 月から民営化されました、○○○○園の視察と、ヒアリングになります。

○○○○会さんには、大変お忙しいところを視察とヒアリングを受け入れていただきまして、まことにありがとうございます。

また、先ほどは施設をご案内いただきまして、ありがとうございました。

〇〇理事長をはじめ、関係の皆様方、並びに各委員の皆様方、本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、早速ですが、本日の会議次第に従いまして、案件の審議に入りたいと存じます。

本日の案件は、次第にございますように、視察とヒアリングとその他という3件でございます。

先ほど、視察のほうは終了いたしましたので、2番目の案件でございます、ヒアリングに入りたいと思います。ヒアリングにつきましては、50分程度の時間を予定しております。

それでは、まず最初にヒアリングの前提として、法人のほうから3点ご説明をいただきたいと存じます。1点目は、保育に対する基本姿勢、2点目は、今回のご応募の理由、3点目は、民営化に伴って保育をどのように充実させていくのかという取り組みの姿勢、以上3点について、それぞれ5分程度、合計15分程度、限られた時間でございますが、〇〇〇会さんの意欲、姿勢をアピールしていただきたいと思います。

それでは、時間の管理は事務局のほうでお願いいたします。

法人： 改めまして、おはようございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

まず、基本姿勢についてですが、児童福祉法に基づきまして、保育を必要とする子どもへの保育の責任を誠実に果たしてまいります。

子ども一人ひとりの健やかで豊かな成長を保護者とともに、喜び合いまして、そして、子どもの最善の利益を実現する、このような福祉の構築に向けて積極的な取り組みを行っているところでございます。今後もこの精神は変わりません。

また、地域での子育て支援の拠点としてという役割も果たしてまいります。

法人が長年謳っております、大切にしたい、人のこころと人の輪、大人も子どもも出会いを大切に不仅じゃなくて、自分も友達もお互いをいたわり合い、受けとめ合い、受け入れながら、人と人との関係を大切にしていきたいなというふうに思っております。

言うまでもありませんが、自分も友達も大切にすることを育む保育、いわゆる人権保育のほうの推進も努めておりまして、全ての子どもの豊かな育ちをひとしく保障していくことを大切にしております。

保護者以外の大人に出会う、初めての集団が保育園でございます。大人に守られて、愛されて、そして、信頼されることで情緒が安定します。そして、信頼関係に結びつくと思っております。

乳児保育、乳幼児保育、乳幼児期には、生涯にわたる生きる力の基礎を培われるという時期でもありますので、この時期は、身体感覚を伴う多様な経験の積み重ね、これを大事にしておりまして、豊かな感性とともに、好奇心、探究心、そして、思考する力が養われていると思っておりますので、この辺は、自然環境の中で各園ともに、独特の色々な取組を積極的に行っているところです。

例えば、樹木に例えますと、根っこの部分を大切にし、子どもたちが仲間や大人たちとともに、これからの未来をつくり出していく、そのための土台として、人としての基礎である根っこを育んでいきたいと、法人一人ひとりの力を結集し、総力をあげて取り組んでおります。

このような基本姿勢のもと、各園の地域性、独自性を生かしながら創意工夫しながら、保育及び子育て支援の実施に取り組んでいるところでございます。

応募理由ですが、申し込みのときに書きました書類のほうを、補足するという形になります。

一つ目は、これまで茨木市で、保育行政の皆様や保護者、そして、地域の皆様からご指導いただき、今日の〇〇〇〇会の保育を構築してまいりました。

ふり返りますと、これまで出会った保護者、地域の皆様の支えとご支援、ご指導のもと、おかげさまで未来を担う子どもたちの保育や子育て支援を積極的に取り組むことができたというふうに、職員一同、心から感謝しているところでございます。

そこで、これまでの感謝の気持ちを地域に返したい、お返ししたいということで、そういうことも保育園の責務ではあると思っておりますが、今回、民営化という、この機会をチャンスにさせていただきまして、今まで以上に地域への貢献をしていきたいということで応募させていただきました。

二つ目の理由になりますが、本日、〇〇〇〇園を見学いただきまして、ありがとうございました。〇年余りですが、多くのことを学ばせていただき、そして、その学んだことを玉島保育所においても、実績をつなげていきたい、活用していきたい、生かしていきたいというような思いで応募させていただきました。

今年度から、二者協議になりまして、以前は、市、保護者、園の三者が協議を続けてきました。そして、お互いの思いを受けとめつつ、確かなものになってきたというふうに思っております。

三者協議会のご要望が実現した中から、少し紹介させてください。

□□□□園の畑を利用しまして、収穫祭の親子クッキングや園バスを利用した園外保育などを実施いたしました。

また、公立保育所では、夏の夕涼み会は、保護者主催となっているのですが、今年度から保護者と園が共催という形で実施することになりました。

今後も公立保育所のこれまでの保育に学び、ともに子どもたちの未来に希望を持ちながら、保育園運営に努めたいと考えております。

三つ目の応募理由なのですが、民営化において待機児童の解消、そして、多様化する保育ニーズに迅速に、柔軟かつ積極的に各園の力を総力して、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

茨木市の次世代育成支援行動計画が策定されたことを受けまして、時代の社会を担う子どもたちを育む街、茨木、子どもの最善の利益が実現される社会を目指してという強いスローガンのもと、行政からの要請を今後も引き続き、積極的に応えながら、保育園の役割、使命を果たしていきたいというふうに思っております。

そういうこともありまして、こういう強い気持ちをぜひ玉島保育所のほうで実現できたらなというふうに思っております。

最後になるのですが、職員確保の安定も応募理由の一つになります。ここ数年で新施設ができる中、毎年多くの職員の確保がスムーズにできまして、職員確保の実績となりました。

3年から4年前くらいから、積極的に求人を展開する中で、職員の処遇改善と、保育の質の向上が重要であるという認識をしまして、そのような取り組みを行った結果、自分の後輩、そして、知人、自信を持って自分の職場が自慢できて、一緒に働きたいという思い、そのような職場環境になってきたように思います。

研修の充実につきましては、新規採用職員については、研修制度を構築しました。外部講師を招きまして、専門的な学びを積み重ねているところ です。

知識や保育技術も重要なんですけれども、日々の仕事が自己実現につながることも大切にとらえておりますので、先輩保育者とその日の振り返りをできるだけするようにしています。そして、新採職員の心身の状況を把握して、心のサポートにも努めています。

このような日々の努力の積み重ねが、採用状況に大きく影響しているように思ひまして、職員確保の安定につながっているというふうに自負しております。それが、応募の理由の一つでもあります。

それでは、民営化に伴う保育の充実に向けて、法人の取り組み姿勢を

お話させていただきます。

これまでずっと繰り返しお話ししておりますが、子どもの最善の利益を実現する社会を目指して、例えば、特別な支援が必要とする子、子どもや本人の疾病及び配慮や支援が必要とされる全ての子どもや子育て家庭に、一人ひとりが健やかな育ちをひとしく保証できるような保育現場を目指しております。

このようなことを基本的に考えて、公民ともに連携を深めながら、茨木市で暮らす全ての子育て家庭の総合的な支援が必要であると考えています。そのためにも、当法人が玉島保育所を任せていただけるのであれば、幸いにも玉島保育所と□□□□園がとても近い距離にあります。そういう利点を生かしまして、近い関係で有効な連携、そして、恵まれた自然環境の共有を提案したいと思っております。

昨年度は、玉島保育所と5歳児さんで田植え交流を実施いたしました。5歳児さんが、本当に真剣に田植えしている様子、そして、その後の泥んこ遊びで笑顔があふれていたことを今でも思い出します。

そして、〇〇〇〇の仲間たちという写真のほうを何枚か資料に掲載させていただきました。これをご覧になっていただけたらご理解いただけるかなと思うんですけど、田植えや稲刈り、季節の野菜や果物の栽培や収穫、いろんなことに取り組んでおります。

ぜひ、またお立ち寄りいただければというふうに思っております。子どもたちが土に触れて、土に親しむ機会を大切にして、土の感触を知って、苗を植えて、そして、その成長を見て、触れて、このような過程を五感で感じることができる、心に残る経験が将来大きくなってからも、自らを支える力になると確信しております。

これから未来に羽ばたこうとしている子どもたちの生きる意欲、生きる力、しっかり根差してくれると願って、生活や遊びを毎日展開しています。

このような生活も遊びも、体験が知識よりも実体験、というふうな思いを持ちまして、日々の保育を試行錯誤し、玉島保育所でももし実現しましたら、そのようなことも広く展開していきたいなと思っております。

また、〇〇〇〇会では、200名余りの職員がおりますので、建て替えや新園の建築が続いておりますので、職員がたくさん増えております。各園で、テーマを決めまして、外部講師をお呼びしまして、7回、10回と研修を重ねています。

時間がございませんので、7号枠のことを説明させていただきます。

〇〇〇〇会を7号枠の第1希望にくださった保護者の方が全体の

5割弱ということで、〇〇〇〇会の保育を認めていただいたように思えて、保護者の皆様に、心から感謝しております。

この思いに答えるべく、障害児保育の研修も連続で行っております。

関西福祉科学大学の特別支援の講師を招いて、ご教授をいただいているところです。

〇〇〇〇会は、人の心と人の輪を大切にしておりますので、今後も色々な意味で、このことばが生きてくるかなと思っております。

最後になりますが、玉島保育所の保護者の皆様にとって、民営化に向けて、はかり知れない不安をお持ちのことと思います。不安の一つは、変わることであるように思っております。見通しの持ちにくい民営化のようではありますが、そのためにも三者協議会があると認識しております。三者協議会において、変化、変更等がありますときは、保護者の皆様と十分話し合って、ご理解を得てからのスタートというふうに認識しております。

子どもにとって良いと思われること、保護者のご要望などは、三者協議会において、協議のテーブルに上げていただければ、一緒に上げていきたいというふうに思っております。

公立保育所に学び、公立保育所を引き継ぐ、緩やかな引き継ぎというのは一年目は目指したいと思います。保護者の皆様に、ご心配、ご不安をおかけしないように、一緒にいっぱいお話をし、いっぱいお互いに理解できますように、ご協力、ご理解いただけたらというふうに思っております。

保護者とともに、ということばを大切にしていきたいと思いますので、ぜひ本日は、短い時間ではございますが、どんどんご質疑いただきまして、お答えしていきたいと思いますので、今日、少しでも不安や疑問がこの場で解消されることを願っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員長： ありがとうございます。

この後のヒアリングにつきましては、今日、配付しております、選考項目のチェックシートに、選考基準が掲載されておりますので、できるだけこの選考の基準に沿って、ご質問などをいただければと思います。

ヒアリングの時間、50分を予定いたしております。それでは、各委員の皆様方からご質問や確認を要する点がございましたら、ご自由にご発言いただきたいと思います。

A委員： 公立保育所を引き継ぎされて〇年になるとは思いますけれども、大きく変えられた点、良いように変えられたと思いますけれども、どのような

点を大きく変えられたのでしょうか。

法 人： 目で見て大きく変わったのは、まずは園庭だと思うんですけれども、もともと従来あった遊具なんですけれども、点検項目の報告をいただいていたんですけれども、結構劣化があったりだとか、子どもが常時遊んでいなかったものがあるというふうに引き継ぎを受けましたので、保護者さまとお話し合いをさせていただいて、撤去し、新たな遊具を取り入れたところです。

その遊具をもって、子どもたちの体が十分を動かし、ふだんの遊びから、体を動かすのって楽しいなと思えるような保育が新たに始まったというところは、一番大きく変わった点だと感じています。

法 人： ちょっと補足させていただきましたら、民営化園を移管いただきまして、三者協議会が始まって〇年経過させていただいて、二者協議に移っていったという中で、〇年間本当に、最初のころは色々ありましたですけれども、〇年を通して、大きく保護者の皆様方とともにということが実感できるようになったのかなというふうに感じています。

それも、現場の先生たちが子どもたちをしっかりと見ているところを、保護者の方々に分かっていただいたのかなというふうに思っているところでございます。

A委員： 施設の点はいかがでしょうか。

法 人： 施設の点につきましては、引き継ぎをさせていただく3月31日の夜、徹夜で、4月1日に、お給食が始まりますので、スチームコンベクションや食器洗浄機、そういった機械を厨房のほうに、早めに搬入させていただいたり、この〇年を通して、日曜、祝日を利用して、色々変えているところは、目に見えるところが結構あると思います。

この中でも、押入れの棚を全部作り変えたり、この床も一度全部、休みの日にクリーニングを専門的な形でさせていただいたりとか、色々なことをさせていただいています。

法 人： 子どもが今までずっとなれ親しんでいたおもちゃなどは、4月の初めに、引き継ぎの先生がいらっしゃっても、大人が大きく変わる点というところで、少なからず子どもにとっても緊張の一日のスタートだと思うんですけれども、そういったときに、今まで遊んでいたおもちゃが傍にある、今までなれ親しんでいた物が見えるところにあるというのは、やはり子どもたちにとっては、安心につながるという点は、引き継ぎの先生方とお話させていただいて、このクラスはこのおもちゃが好きですというのを十分引き継ぎさせていただいて、それに対しては、一つ進級すると同時に、年齢に合ったものでしたら、それをクラスのほうに入れま

して、大きく変えた点と子どもが安心できるものというのは、考えながら環境は整えています。

B委員： 保育内容の引き継ぎで、各遊具など、子どもたちにとって、身近な環境を引き継いでいたり、公立保育所を引き継ぐに当たって、何か学ばべきというところがあったら具体的に、もう少し上げていただきたい、それと、やはり食育を大事にされているし、前回、●●●●園に行かせていただいたときにも、厨房も見えるところにあるという感じでしたが、そのあたりの乳児への食育の取り組みについても具体的などころがあれば教えてもらえますか。

法 人： まず、環境構成で0歳、1歳のお部屋につきましては、1歳のお部屋のところに、ちょうど仕切りがあったのですけれども、その仕切りをとらせていただいて、1歳がもっとゆったりお食事ができるスペースということで、△△△△園で使っていた、アールの家具をばらして、それを0歳と1歳の部屋にアールの柄を持ってきまして、1歳の部屋を少し大きくして、1歳のお友達が手前でも遊べるようにして、入った手前側に食事をするスペースをもう少し確保させていただいて、1歳というのは、本当に寝る、食べる、遊ぶということが、生活の全体でございますから、まずその確保と、ゆったりできる環境、それと、個々のかかわりということを重視するように、0歳、1歳の部屋については、大分変えました。

B委員： そうですね。ゆったりしていましたね。

法 人： 先ほど、〇〇〇〇保育所で引き継ぎをする中で学んだことで、ちょっとずれるかもしれないんですけれども、〇〇〇〇保育所に、初めてここに來たときも、子どもたちが、すごく生き生きしていたんです。

私が入ってきて、こんにちとは挨拶したときに、わあ、先生なの、見て見て、私も見てとかいって、みんな周りに来てくれて、自分の持っているものを見せてくれたり、話をしてくれましたけれども、それを見て、ここで子どもたちのために今できることをやろう、職員と一緒に一生懸命やろうと、本当に思えたのです。

そういう子どもたちが、〇〇〇〇保育所で、先生とともに学んできた、育まれてきたというのは、私にとっては、今から私たちは新たな勉強の始まりだと、すごく感じました。

一人ひとりの生活習慣というのをとても大切にされていて、個々のペースがあるのも十分理解されていて、それに応じて保育されて、対応されているのも分かりますし、3歳児から5歳まではやはり少し集団という中での子どもの育ちの捉え方とか、その中での着がえであったり、食事であったりというのは、本当に丁寧に、そして、こつこつと積み重ね

てこられたのかなということを、すごく実感しました。

だから、私たちも今まで育ててこられた子どもたちの育ちというのをとても大切にしないといけないなというのを、本当に感じたので、今もそれを私たち、学びでありますけれども、それは気持ちを込めてやっているところです。

委員長： ほかの委員さん、いかがでしょうか。

C委員： 職員の講習とか、考え方とか非常によくやっておられるなというのは、目に見えて思うのですが、ただ、この間の〇〇〇〇会さんの事業展開が、ここの民営化を受けて、△△△△園を建てかえて、■●●●園をまた建てかえたということで、非常に早いテンポで事業拡大をされている、何かその辺はどういう思いでされているのかと思ひまして。

法 人： もともと△△△△園というのは、今年 41 年目で、隣のマンションができたときに、同じように建てさせていただきまして、それが建て替えて 2 年前に新しく今のところに移ったのですけれども、平成 18 年に、□□□□園を建てさせていただいた、本来の目的といいますのは、△△△△園が、平成 18 年当時は、定員 120 人で部屋を改装して広くすれば、待機児童という形で入って来るという中で、△△△△園が手狭であったものですから、何とか□□□□園のあの立地のところで、同じように自然を共有できるようなことができないかということが、平成 18 年の一番最初に、□□□□園であの場所を選んだというところから始まりまして、平成 21 年に、●●●●園ができたときというのは、どうしても、障害を持っている子どもたちというのは、△△△△園でも受け入れるか受け入れないかというのがテーマでしたし、□□□□園でも建物が 2 階という制約があったものですから、●●●●園で何とか、そういったことを踏まえた、夜 9 時までの保育、休日保育、障害児保育の充実、そして、はだし保育ということで、●●●●園も平成 21 年に建てさせていただき、そのころには、△△△△園の耐震というのが騒がれておりまして、新しくどんどん地震がきましたら、耐震基準というのがどうしてもきつくなってきまして、平成 22、23 年くらいには建て替えのお話がありまして、4 年くらいかけて△△△△園については、検討させていただいていたんです。その間、△△△△園は、敷地が狭いものですから、近くに用地を取得しなければならないという中で、大阪府の土木事務所の土地を、大阪府さんと茨木市さんの推薦によって、取得をさせていただいた。

その中で、■●●●園というのは、もともと△△△△園が建っていた場所なので、当時から新園建設という話がありましたものですから、△

△△△園の建てかえ、並びに■■■■園の新設につきましては、十二分に時間と検討をする余地がありまして、その間、私どもは、第三者評価というのも平成 21 年に受けまして、そこから色々ご指摘をいただく中で、第三者評価につきましても 2 年、3 年と準備をかけて、また障害児保育につきましても、色々な研修を重ねさせていただいたり、また△△△△園の建て替えが決まるころには、ちょうど平成 24 年くらいから、いわゆる施設の職員の確保ということも踏まえて、僕ももう 10 年近く大学のほうでも講師として教えていますし、〇〇もまた保育士の中から、講師を派遣させていただいて、専門学校と各大学と提携をさせていただいて、実習生の受け入れ、また、実習授業への参加等、またアルバイトで学生さんに来ていただいてというような人材確保ということにつきましても、4、5 年をかけて準備をさせていただいたというところで、〇〇〇〇園の民営化につきましては、なかなか応募の状況が芳しくない。そんな中で、茨木の財産でもある公立保育所、それに手を挙げられないのですかということで、行政のほうから市内法人に意向確認がありまして、何か運命的なものを感じまして、手を挙げさせていただき、初めての民営化ということで、最初のころは、本当に保護者の皆様、子どもたち、また、職員、本当に惑うところがあったり、色々本当に大変なこともありましたが、回を重ねるごとに、親近感、また理解を得るような三者協議会になって、施設展開はしてでも、△△△△園の建築、■■■■園の建築につきましても、十二分に設計にも時間をかけて、準備をさせていただいているところでございますので、私のほうも今、最後に申し上げましたように、人材の確保、育成ということにつきましても、そんなにしんどいというふうには全然感じておりません。というのが現実のところですよ。

C 委員： 今回手を挙げられた分については、やはり、そういう実績も踏まえて、玉島は□□□□園の近くだということですよ。

法 人： いえ、玉島保育所は、もともとが民営化になりましたら、一番に私も手が挙げたいという本命だったのです。

といいますのは、玉島保育所と□□□□園は、本当に近隣でございます。そんな中で、本当に、いろいろな連携、また職員間についても、駐車場の確保であったり、また、□□□□園と玉島との連携、また、小学校への友達関係の連携、色々なことが近隣の中で構築できるのではないかと、ということで、もともと玉島保育所が民営化になりますよという以前から、もし玉島保育所が民営化ということになれば、第一番としてやりたいという意欲は持っておりました。

C委員： それでも、傍から見ると非常に新設のテンポが早いということがあって、D委員の経理の話を聞いていると、なかなかしんどいところがあるのではないかというのが、見えたりするのですけれども、それは全然問題はないですか。

法 人： はい。経理的には、専門の方に、ご指摘なりご意見を賜りたいと思いますけれども、まず私ども、福祉施設というのは、その地域になくてはならない、また、一度建てれば40年、50年、地域に密着するということが大前提でございます。

そのためにも、財務の健全性ということにつきましては、これはもう職員の生活もかかっておりますので、そこはもう一番大切に考えなければならぬことだと思いますので、もしご意見ございましたら、具体的にさせていただきたいと思っております。

D委員： 提出いただいた決算書を分析させていただいて、前回の委員会でご報告をさせていただいたのですけれども、そのとき、皆さんにお話させていただいたのが、今、C委員からもあったように、ちょっと財政状態がここ数年、非常に不安定というか、ちょっときついですけれども、ちょっとしんどい、通常はやっぱりしんどく見えてしまうので、一つは、負債が建築代金だとか、色々なもので結構膨らんできているという部分があって、資産も当然増えていっているんだけれども、純資産の割合が下がるだとか、その辺がトータル的な安定性という、まさに理事長が言われた安定性ですよね。そういう指標から見ると、標準的な全国の保育所の数値から見ても、正直厳しいのですね。〇〇〇〇会さんの状態は。

そのところを私としては、一番懸念は持っていて、その原因は何だろうというのを今、C委員からもお話があったように、ここ数年の規模の拡大というのが、やはり一番影響が大きいのであろうなというふうに思っていて、そこに加えて、今回玉島を引き受けられたときに、玉島は、大きな建てかえだとか、そういう話は多分ないのだろうと思うのですけれども、ちょっとお金のやりくり、人のやりくり、人に関しては、財務状況、やり方、ノウハウができてきたというお話を今お聞きしたのですけれども、やはり若干、数字が不安に見えるんですね。その辺、もう一言何かご説明をいただけたらと思うのですけれども。

法 人： まず、どういう指標を使われたかは分からないのですけれども、私自身、当然融資を受けることにつきましては、事業展開等につきましても、十二分にご審議いただいている中で、まず、平成18年に□□□□園を建てさせていただく。そんな中で、〇〇〇〇円くらいの借り入れがあって、今現在〇〇〇〇円くらいで、順調に□□□□園も推移していますし、平成

21 年にと●●●●園を建てさせていただいて、〇〇〇円くらいの借入れの中で、今、〇〇〇円ちょっとの残債がある。

そんな中で、△△△△園を建てかえさせていただく、これについては、土地の取得が〇〇〇円近くのお金がかかっています。また、建物についても、〇〇〇円近い建物になって、そこから〇〇〇円くらい借入れをさせていただいている。

また、■●●●園につきましては、建物について〇〇〇円くらいの建物で〇〇〇円くらいを借りている。

ですから、事業にかかわる自己資本比率といいますのは、2つを合わせていただいても〇〇%以上のものがありますし、今の返済というものにつきましては、入所率が〇〇%を切れるような状態で、大体損益分岐点がゼロ、ゼロくらいになるような形になると思うのです。

今現在は、私どもの入所率というのは、大体〇〇%くらいになっていますし、認定こども園になって、1号枠というのが別に増えていますので、その数を足しましたら〇〇%強くらいの入所率になっています。

そこから、120の定員が110とか105とか、推移を出させていただいて、大体〇〇%くらいまで落ちるとというのは、よほど急激な少子化、例えば、労基法の改正等で育休、産休制度がもっともって確立して、0歳の子どもたちは自宅で見ると、1歳、2歳まで自宅で見るとかというような、かなりの政策的なものがない限りは、今の入所率が〇〇%になるというのは、もっともって先のことになると思うのです。

その間の返済比率を考えていきましたら、かなり資本と資産との比率が向上できるのではないかと考えていますし、もうこれ以上の大きな投資というのは、〇〇〇〇園の建てかえというものが、何年か先にはあると思うのですけれども、そのところを考えましたら、決して処遇改善で給与を下げなければならないとか、今以上のアップ率というものも僕は可能だと思っていますし、職員の人件費、また、子どもたちに係る費用等につきましても、今まで以上の水準は十分可能だとは思っておるんですけれども、どんなものでしょうか。

D委員： お金を借りるときに、恐らく将来のキャッシュフローを考えて、計画の話で融資する側と受ける側とで、色々前提条件を詰められていたと思うのです。そのところは、当然それでやっていただいて、OKが出ているので大丈夫なのだと思うのですけれども、私どもが見させていただいているのは、まずは実績の過去の数字を見させていただいていますので、そうすると、今、理事長も純資産比率は〇〇%を超えているという話なのだと思うけれども、まさに、〇〇〇〇が出しているデータがご存じの

とおりにあるのですけれども、平均で見ると、ほかの法人は、標準値はもっと高いですし、今回の決算などですと、流動負債に対して、流動資産が〇〇%を切っておられるんですね。

その辺は、やはりちょっと社会福祉法人では、普通〇〇%を切るというのは、あまりない例なのです。私も色々見させていただいていますが、けれども、その辺かが、実績としての客観的な数字として、やはり普通はないような数字になってしまっているのも、ちょっと気になっているというのが正直なところなのです。

法 人： 大体どんなものですか。平成 25 年度決算くらいで、25、26 年度分で、△△△△園の建て替えに要する土地取得が〇〇〇円、建物が〇〇〇円くらい、そして、直近の■■■■園の建物支出が大体〇〇〇円のうち、借入れが〇〇〇円ですか。この直近 2 年くらいで、どんと上がっていますので、その比率は高く割れるというのは。

D 委員： 一時的になってくるのだとは、推測はできるのですけれども、あくまで実績で、まず見せていただいているので、こういう状況ですというのは、各委員の方に認識していただいた上で、ご判断いただかないといけないので、そのところは気になっているということだけは、理事長にもご理解いただきたいと思ひまして。

法 人： 私ども、その部分の投資につきましては、土地、建物、全部で〇〇〇円くらいになると思うのです。

〇〇〇円のうち、借入れというのが〇〇〇円くらいです。実際自己資本と借入れの比率というのを考えましたら、決して高い数字ではないようなことで、借入先とはお話をさせていただいてきたのですけれども。数値的なそういうようなものが表れているということになりました。

D 委員： ちょっとテンポが、色々なものが、ここ 2、3 年で重ねてやられているので、見かけ上は、今がちょっと財政状態的には一番厳しいような中でやっておられる分には、そんなに心配されていないかと思うのですけれども、やはり数字上は、一番しんどくなってきた、これから予定どおり、行っていたかかないと困るのですけれども、計画どおり行っていたら、ぐっと改善されるのだろうと思うのですけれども、現時点の数字としては、そういう状況だということ、やはり、ひっかかりがあるということでご理解いただければと思います。

委員長： ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。

E 委員： 〇〇副園長にお聞きしたいのですけれども、もし玉島の民営化が先にあったら、配属予定だったのですか。そうではなくて、今回たまたま〇

〇〇〇園が、早かったから、〇〇副園長は、玉島に行くという予定ではなかったのですか。

法 人： それは、私の今までをふり返りますと、公立保育所に 30 年余り勤務させていただきまして、その途中で大阪保育子育て人権保育研究センターというところに出向させていただきました。

そのときに、初めて外から茨木市の保育を見せていただいて、自分自身個人的に、すごい井の中のかわずだなと思いまして、その後、市に一回帰ってきたのですけれども、もっと勉強しないといけないなと思って、退職しました。

退職した後に、専門学校へ行ったり、大学へ行ったりして、たまたま〇〇〇〇会の研修の講師で行かせていただいて、中を見せていただいたのです。ふだん着の職員さん、ふだん着の保育を見せていただく中で、これは、次のステージはここやだと私も思っていて、理事長からも来る者拒まずですか、受け入れていただきまして、□□□□園に来て〇年目になったところで、これからまだまだ勉強しないといけないなというところで、玉島を手を挙げるとおっしゃったので、どうですかという声をかけていただきましたので、全体 200 何人いますので、こんな私でいいんですかということだったんですけれども、ぜひ公立の保育を引き継ぐんだったら、公立のことを十分勉強させていただいている私がさせていただきたいなと思いまして、法人側と私の意見が一致したということで、今回、私が候補に上がっております。

E 委員： あと何点かお聞きしたんですけど、時間もないので手短にいきたいのですが、そうしたら、玉島保育所に着任されるとします。目標って何がありますか。

法 人： 今まで話しましたように、子どもの最善の利益の尊重ということなので、例えば、少数派の人、平均して総なめに見るのではなくて、標準を見るのではなくて、一人ひとり違うんだよという見方をした上の保育をしていきたいということで、子どもの権利の実現、最善の権利の実現をしていきたいということなのです。

でも、保育観は変わりません。今までと変わりません。ただ、何が違うかというと、保護者のご意見を伺うステージが違うだけです。三者協議会というがあるので、そこでぜひお話をさせていただきまして、保護者がどういうニーズかというのも、ぜひ思いを聞かせていただきたいし、子どもさんたちも、どんな子どもさんがたくさんいらっしゃるのか、笑顔で迎えてくれるか、それとも、もしかしたらびっくりするのかなとか、何が出るかわかりません、現場に行って、ぜひ引き継ぎ、合同保育

などがありますので、その間に、足元を固めたいと思っておりますので、またご意見を頂戴できたらと思っています。

E 委員： 苦情に関しては、玉島を受けられた場合も、提示する場所は、ホームページでされるということですか。それはもう、〇〇〇〇会さんのスタイルは、そういうふうになっているということで、受付も設置するのですか。〇〇〇〇園のほうで、そういう問題はなかったのですか。保護者からの苦情とかは、今の現状でスムーズに解決できてすますか。

法 人： こちらで民営化が始まったばかりのときに、苦情解決はどうなっていますかということで、玄関を入っていただいたところに、ポスターを掲示させていただいているのですけれども、第三者委員に、苦情の解決をお願いする際は、受付はここですというポスターを必ず貼らせていただく。それは協議会のほうでもお話させていただきました。

園のほうに入ってくる、色んなご意見というのは、そこに行く前に私のほうに相談いただけたので、その中で、話が現在は、行われていると思います。もちろん、〇〇〇〇園の保護者さんにも同じことをお話させていただきました。

E 委員： スムーズに解決できていますか。

法 人： スムーズ、私ここで色々学んで、私自身が学んだことというのは、保育以外のことでしたら、私たちがやろうとしている保育だったり、たくさん保護者さんいらっしゃいますので、全ての保護者さんにやろうとしている狙いであったりだとか、思いであったりだとか、それに到達する経緯だったりという話を、どこまでかみ砕いて、皆さんにお話できるかというところが、とても私自身が学ぶ〇年でした。

ですので、ことばが未熟だったり、ことばが不足していることで、保護者さんの思いや不安を膨らませてしまったこともあったでしょうし、それに対してのご意見もたくさんいただきました。

意見をいただいたから、それをそのままに絶対することなく、じゃあ次はどういうふうな手立てをするのか、どういうふうなことばで保護者さんに伝えるのかというのは、それをそのままにすることなく、今、努力もしていますし、改善しようと思ってきました。

保護者さんのほうから、保護者会と保育園が一緒にやっていきましようという文書をいただいていますので、一つ、またステップが上がれたのかなと、さらに努力も必要だと思っています。

E 委員： 玉島の保護者が一番心配していることが、保育料以外の出費と、布団はリースでされるのかどうか。そこに対して、またお金がかかってくるのかというところが、もし5年間はそうじゃなくても、5年後にはそう

なりますというのであれば、そこは教えていただけたら教えてほしいかなというのがあるんですけども、どうですか。

法 人： まず、保育料以外の部分というのは、とりあえず今は考えてはいません。

E 委員： □□□□園ではあっても、ほかはないということですか。

法 人： はい。

E 委員： 現状、ここであるというのは、夕涼み会の景品を保護者が用意するくらいですか。

法 人： それは、もともと〇〇〇〇保育所でされていたことが、引き継がれているということで、ご理解いただきたいと思います。

E 委員： 5年後以降も保育料のみで考えていいのですか。そこは、習い事でかかりますよとか、もしくは、二者協議で話し合っていきますということであれば、それは、それでいいのですけれども、そこを明確にしてほしいなど。

法 人： 原則はとりません。二者協議なり三者協議なりで決まったことについては、そういう形でお願いしたいと。

E 委員： 5年以内であっても、協議で一致すれば。

法 人： 勿論です。

F 委員： 5年以降はかかってくるかもしれない、二者協議の場がなく始まるかもしれない。

法 人： それは協議させていただいてと思います。

F 委員： 5年後も。

法 人： はい。

F 委員： 実際、保護者が月々を支払うというのは、給食費と保育料と、庶務費のみですか。

法 人： そうですね。あと、延長保育をご利用されている方は、延長保育料ですね。

F 委員： ほかに雑費という分はないですか。

法 人： ないですね。あと、もともと〇〇〇〇保育所で、年長組の保護者さんの中で、最後、キッズプラザに行くというのをとても大切にされていたということを聞いていますので、それはそのまま引き継ぎさせていただいて、それに係る費用というのは、もともと保護者さんが負担されていたことがありますので、それも引き継ぎさせていただいて、年長児になった際に、クラス懇談会でお話はさせていただいて、お願いしますということでしたら、徴収させていただいて参加するというふうにしています。

E 委員： 職員の人数は、何人くらい配置されるのですか。

法 人： 今、〇〇〇〇園を見ていただいたと思うのですけれども、まず一番は、臨時職の方々を何人引き継げるのかということと、今現在、資料にもリストを出していますけれども、11、12 人くらいは、今の私どもの中にはいますし、あとは、臨時職員さんが、どういう感じで残っていただけるのかというのを踏まえて、基準以上にはさせていただきますし、またいます。どの園にも。

E 委員： 今、玉島で働いている臨時職員の方たちも残る可能性はあるということですか。

法 人： もちろん、ここでも理事者（市）の方々とお話させていただいて、12 名の方が最初に残っていただきまして。一番は、まず残っていただくということを前提にお話させていただきたいと思っています。

委員長： あと5分くらいですが、よろしいですか。

F 委員： 見せていただいたり、聞かせていただいた中で、お聞きしたいのですけれども、参観が年間3回というのが、資料に書いてあったのですけれども、食育に保護者も参加してもらったというのがあったり、収穫を親子でしたというのがあったので、それを含めた年間3回ですか。

法 人： 各園、それぞれ時期が違ったり、大よその数です。玉島保育所さんで今やっておられて、問題がないのであれば、協議の上、公立保育所をそのまま引き継ぐということなので、そのままさせていただきます。

こちらの園のほうもそうしているのですけれども、たまたま収穫祭で親子クッキングがしたいとか、そういう話が次々出てきたりして、園バスを利用したり、□□□□園のほうを利用したり、そういうご要望があって、増やしたというケースもあります。でも、それは三者協議会がありますので、そのこのステージに乗ると思いますので。

法 人： もともと食育は、保護者さんが見えになってみたいなんです。それで、私たちも来ていただいても構いませんということをお話させていただいたので、ご都合がつく方は参観されたということです。

F 委員： こちらの〇〇〇〇園で、年間、保護者参観は、どれくらいですか。

法 人： 参観でよろしいですか。

F 委員： 参観とかクッキングとかは。

法 人： もともと参観というのは、引き継いだ回数と同じですので、参観は年2回、保育参加と参観が組み合わさっているような形です。一緒に親子で入っていただく活動と、見ていただくのが、年2回されているので、0歳児から2歳児さんというのは、入り込みで、もともと〇〇〇〇保育所は、0歳児から1歳児だけが入り込み参観という形をされていたので

すけれども、2歳児さんも乳児のひと括りとして、入り込みというので、保護者さんのご都合とお子さんの様子に合わせて、それは変えました。

それ以外で大きく変えた点というのは、収穫で、子どもたちが先に見ていますので、子どもたちの話も聞くけれども、実際に□□□□園は、どんな様子かとか、どんな畑なのかというお話をいただきましたので、それだったら一緒にどうですかということで、それが一つと。

年長児さんに関しましては、茨木市私立保育園連盟のサッカー大会があり、そちらのほうに、参加してみようかという話になりましたので、そこは増えた点だと思います。それ以外は、引き継ぎのままです。

F委員： ありがとうございます。

委員長： ほかの委員さんは、よろしいですか。

G委員： 公立保育所もいいところもありますし、民間のいいところもあると思うのですが。

今回、民営化するに当たっては、当然公立保育所以上のものを望むところもあるわけです。そういう良さを発揮してほしいのですけれども、今、民営化園を運営されて、子ども側から見て、いい子どもたちを引き継ぎましたという話がさっきあったのですけれども、子ども側から見て良い変化が出てきたところがありますか。

法 人： 私は、子どもたちが、本当に体力がついて、体力がついたから体を動かす、体を動かすからお腹がすくというのは、大きく変わった点ではないかと思います。

G委員： 見た感じで、そういうことを思われたということですね。

法 人： 子どもたちが、自分の言いたい思いというのは、誰に対しても言ってもいいんだよと。大人であっても、お友達であっても、自分の思いを伝えることに、悩むことなく、子どもが思っていることを自由に表現していただきたいので、大人のことばがけだったり、配慮というのは、この〇年、それができるように配慮を心がけました。

G委員： 今、大人ということばが出てきたのですけれども、保育園に来て初めて、子どもは親以外の大人と接する、その大人というのは、保育士、看護師さんというところになりますけれども、看護師さん、保育士さんに対して、どんなことを一番大事に教育されていますか。

法 人： 私は、職種を問わず、子どもたち一人ひとりを大切にして、思いを受けとめて保育をしようと、職種を問わず、みんなで〇〇〇〇園の子どもを育てよう、クラスだけではなく、0歳児から5歳児まで全ての子どもたちの成長をともに見守ろうと。

G委員： 若い人が多いという感じなのですが、それは徹底されていること

ですか。

法 人： はい。一つ補足させていただきますと、新しい人をとる以前に、今、働いている人たちが、どういう職場環境で、どういうふうなやりがい、生きがいを持って臨んでいるのかということが、一番大切なことだと思います。

その中で、自分たちの職場が自信を持てるからこそ、自分たちの学校へ行ったり、自分たちの後輩に、ここだったら良いよと言える。

G 委員： 人材育成の方策というのは、連携ということですか。それ以外に何かあるのですか。

法 人： 人間関係につきましては、本当に今、おっしゃっていましたが、クラスの担任の先生たちが見るという考えではなく、担任も職員は、いわゆる全部の子どもたちを見るということで、自分の担任のクラスという意味ではなく、私ども、〇〇〇〇園の職員は、一つの施設の中に入ったら、全ての子どもを見る、そういう職場集団です。

ですから、職種によって、隔たりがあったりというようなことをなくすためにも、厨房に保育士さんが行ったり、また、喫食時に調理の方が来たりというふうなことも、当然やっていますし。

G 委員： 最後一点だけなんですけれども、□□□□園が非常に近いという地域性はあるのですけれども、話を聞いていますと、□□□□園があって、玉島かがあるというような感じを受けたのですが、それ以外の地域性というのは、どういうふうに考えておられますか。玉島に対して。地域性、独自性を生かしということをおっしゃっているのですけれども、その地域性というのは、□□□□園を除いたら、どんな地域性だと考えておられるか、そこだけ聞かせてもらえますか。

法 人： 育成計画で、玉島地区というのは、まだ子どもさんが非常に多い。転勤族が多い、若い世代の保護者の人が多い。一方、昔からいらっしゃるおじいちゃん、おばあちゃんが一部いらっしゃるということで、その人たちとも交流しています。

しめ縄作りをしたり、おもちゃ作りをしたりということで、地域の状況をお知らせいただいたり、団地も平田団地がありまして、その辺がかなり高齢化しているということなので、あちらのほうとも交流をしておりますので、若い世代と高齢世代がたくさんあるなというのがあって、若い世代のほうの地域性というのは、転勤族が多いので、おじいちゃん、おばあちゃんが近所にいらっしゃらないので、子育ての応援をしてもらう人が大分減っているかなというふうに、私どもは理解しているのですけれども、そういうことも含めまして、私たち保育所職員が、子育ての

応援団でいないといけないなど。子ども側にも立ちますけども、親側にもしっかり立っていかないといけないというふうに思っています。

昔、公立の保育所に勤務していたときに、ある上司に学んだのですが、研修をしていただいて、自分の仕事のことを情熱を持って語れ、そういう仕事をしろというふうに言われました。

そのことが、私はずっと胸の中にあります。自分の仕事のことを情熱を傾けてしゃべれるというのは、今、〇〇園長、理事長が話してもらったように、連携、子どもの権利の尊重、それから、地域を大事にして、どれだけ連携していくかということになりますので、これまで本当に、いろいろ教えていただいたことに感謝の気持ちということで、今回は、玉島をぜひ〇〇〇〇会の仲間に入っていただければと思っています。

委員長： ありがとうございます。

予定の50分は経過いたしました。最後に是非これだけはお尋ねしておきたいというものがあれば、お受けしたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

それでは、ヒアリングにつきましては、これで終了とさせていただきます。

この後、委員間で協議をいたしますので、〇〇〇〇会の関係者の皆様方には、場所をお借りしておいて大変恐れ入りますけれども、一旦ご退席をお願いできますでしょうか。よろしくお願いいたします。

【法人退席】

委員長： それでは、委員間協議に移ります。

本日は、最終的な判断に非常に大きな影響を与えます、視察とヒアリングということでございました。ご判断に向けて、委員間で認識を一つにしておくべきこととか、あるいは、ほかの委員さんがどのような印象を受けたかとか、そういう点につきまして、この場で意見交換、相互のご質問などをさせていただきたいと存じます。

どうぞ、ご自由にご発言ください。いかがでございますでしょうか。

C委員： D委員、経理的にどうですか。理事長の話だと大丈夫、頑張りたいという意欲は非常に見えるのですが、どうですか。D委員の解析で見せてもらったら、確かに資金繰り、今は厳しいのだろうけれども、児童の充足率がずっと維持できたら問題ないという判断でいいのですか。

D委員： そこは、私より、借入先がしっかり見えていると思います。将来計画は、返済期間を通じて、どれくらいというのを見た上で貸しているはずなの

で、当然その大前提は、利用者の数が何人というのが基本にあると思うので、そこを見た上で、さっき理事長が、おっしゃっていたようなことも踏まえて、やっておられるので、計画上は大丈夫という判断を当然されているのだと思います。

正直、安定性の指標が良くないという話をさせていただいたのですが、結局資本の評価は、比較論なのです。普通の企業でもそうなのですが、同業他社と比較してどうだとか、あるいは、具体的に、標準的な指標と比較してどうだという、比較論でしか基本的には語れない部分があるのです。

それでいくと、やはり、理事長に申し上げましたけれども、ちょっと普通では出てこないような数値になってしまっている、これは事実として認識しておかなければならない。ただ、一番気になったのは、理事長がどこまで認識されて、そういう状態になっておられるのかというのが、正直私も気になって、しっかり考えを持たずに、やってしまって、こうなっているというのは非常にまずいと思っていたのですが、理事長は、こうだから、大丈夫なのだという、自分なりの考えを持ってやっておられるので、そういう意味では、若干安心はしたのですが、

ただ、指標としてやはり厳しいというのは、間違いないので、その辺、大丈夫かどうかという、だめではないと思うのですが、〇〇〇〇会さんと比べてどうかといったら、そういう比較の話にどうしてもなってしまうかなと思います。

E委員： 済みません。それは、〇〇〇〇園の移管を受けたから、そうってしまったのですか。

D委員： その前から、△△△△園の建てかえだとか、色々なことを、本当にこの2、3年でお金が大きく動いているのですね。先ほども申し上げましたように、それがちょうど今、一番ぐっと厳しい。負債の割合は、一番少ないとおっしゃっていましたが、とはいえ、その分、結局自己資本の割合は下がっていくので、財政の状態という意味では、しんどい。しんどいという実感はお持ちではないかもしれませんが、通常は、やはり厳しくなっているのは間違いないと思います。

E委員： なぜ、その中で、前回〇〇〇〇会さんが、〇〇〇〇園の移管ができたのですか。

D委員： 前回の指標は、今回ほど厳しくはなかったと思います。そのとき私は立ち会っていないので分からないのですが、その段階では、おそらく、ここまでは厳しくはなかったと思います。その後で、今の建て替えだとかがどんどんと来たので、ここ数年でその辺の指標が変わったの

ではないかと思うのですけれど。

委員長： 前回の審査のときには、財務運営については、他の法人と余り大きな差はありませんでした。

E 委員： 実際に〇〇〇〇会さんに〇〇〇〇園を移管されて、いざここを見て、どう思いましたか。前回も視察して、〇〇〇〇会さんに〇〇〇〇園を移管されたじゃないですか。実際に今日見に来て、どんな印象がありますか。僕たちからしたら、特に今、現状を見た感じでは、まあまあ公立のやっていることを引き継いで〇年目なので変わらないなというくらい、やっていることもそうですし、要るものであったりだとか、僕たちは、どうしてもそういう目線で見ってしまうので、何が変わっているのかとなったら、一日の流れも大体同じような感じですし、唯一違ったのは、夕涼み会で、保護者が全部用意するということ、玉島では、保護者会で議論して決めるのですけれど、あとは、多分この部屋で、布団で寝ているのだろうなというのがあり、でも□□□□園は、簡易ベッドで布団は全部リースというのがあるので、玉島もそうなるのかなと思ったり、でもこちらの〇〇〇〇園は、現状そうっていないので、5年後、協議でなければそのまま維持すると言っていましたけれど、現にほかの法人は、5年後、がらっと変わってしまっているというのがあって、実際このまま、〇〇〇〇園も今のところ問題はないと仰ってましたけれども、保護者同士は結構つながっているの、すごい聞くので、保護者から。今現状は、民営化になって、こうなりました、こんなふうですよと、教えてくれるので。それを聞くと、ちょっと、そうですね…。

F 委員： ちょっと不安かなという印象はあります。〇〇〇〇園が実際、民営化になって、色々民営化後の話を聞いていると、それで、玉島も〇〇〇〇会系になって、保育内容はいいとしても、対応だとかというところはどうかのかなと、大丈夫だと、スムーズにもいっているし、色々勉強もさせてもらったという話を聞いたのですけれども、保護者が本当に思っているのと、園長さんたちが思っているのと、どうかのかなと、実はもめましてというような話を、ここではしないとは思っているのですけれど。ちょっとその辺の温度差というのがあるのかなと思って聞かせてもらっていたのですけれど。

E 委員： やっていることは、すごくいいと思うのですね。食に関してもそうですし、また、玉島と近いで、向こうの畑を利用させてもらったりだとか、その辺はすごくいいなとは思っているのですけれど、収支の面であったりもそうですけれど、ちょっと不安のほうが大きいです。そこは、やはり、はっきりとは言ってくれないと思っていたのですけれど、文書を読むだけ

だったので、行く行くは園長になられるという方も、そこまで何かというものが伝わらない。理事長は、しゃべっておられましたけども、ちょっと。短いですね。これだけで決めるというのは、それは仕方がないですけれど。

事務局： 時間については、各法人さん同じ配分でやらせていただくということで。

E委員： 今日、明日で決めてしまいますのでね。

事務局： そうですね。明日、もう一方の施設に行っていていただいて、その次は審査になります。

委員長： ほかの委員さんから何かご発言ございませんでしょうか。委員から他の委員さんへの問いかけでもよろしいですけども。

F委員： 個人ノートの扱いなのですけど、今、個人ノートは、個人情報がすごく詰まっているものなので、結構嚴重に扱うようになっていると思うのですね。各公立の保育所では。

玉島でも、何回か参観に行っただけでしか見ないですけども、先生が来たら、ノートを出すだとか、朝来てノートを出すのを事務所だったり、必ず人の目がいくところ、誰かしらが見ていて、ほかの人がさわらないようにだったり、間違えてノートをとらないとか、見ないとか、そんな人はいないと思うのですけれども、そういったところを気をつけていると思うのですけれども、もともと〇〇〇〇保育所でやっていたから、そのまま引き継ぎましたということで、玄関のひとの出入りのあるところに、ぽんと置いているだけだったので、事務所の前とはいえ、必ず職員が見ている訳ではないと思うので、その辺の個人情報の扱いというのが、〇〇〇〇保育所がしていたからそのまましていますじゃなくて、個人情報を扱うというのを重視するのだったら、変えてもよかったのではないかなと思うのですけど。どうでしょう。

C委員： そういうものは、移管になってからの三者の話で、保護者の意見として、どんどん言って変えるべきだと思うけど。今は、こうなっているというのを。

F委員： その考え方として、個人情報を扱うのになぜ、あの場所で。

C委員： きょうは、個人情報についての話は、しておられなかったから。書類の中に記載あったけれども。

F委員： 実際、ああいう扱いをするのであれば、ちょっとどうかなと思ったのです。

委員長： それは気がつきましたね。最初に入ったときに。

C委員： でも、それについて、保護者も何も言わないのは、何かおかしい話で

は。

F 委員： 今までがおそらく、そうだから、自然の流れではあると思うのですけれど。

G 委員： 三者協議会などがありますので、公立保育所を緩やかに引き継ぐところと、それを踏まえながら、もう少し発展的にやるために、そういう制度があるので、その辺は十分活用してもらえるところと、私が思ったのは、公立保育所の経験者の方がおられるのは、今日は、ちょっと強みになるかなと感じました。それをどう捉えるかですけど。一つのベースで、全く公立保育所を知らないのではなく、知っている方がおられたというのは。明日、またヒアリングしてもらって、その辺は比較論で出てくると思いますが、人的には、安心感はあるのかなと私は思いました。

委員長： 予定の時間を超過しておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、委員間の意見交換はこのくらいにいたしまして、最後に、案件(3)でその他とございますけれども、何か事務局からご連絡ございますか。

事務局： 本日は、公私何かとお忙しい中、多数のご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

委員の皆さんにおかれましては、明日も本日と同様に視察及びヒアリングを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

次回の第6回の選考委員会は、明日の視察が終わった後、その内容及び選考項目を総合的に勘案していただきまして、より優良な移管先法人を選考していただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

第6回目の日程ですけれども、7月29日の水曜日午後6時30分から、場所は、防災会議室を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

開催通知は、お手元に封筒でお渡ししている分になります。よろしくお願いいたします。

明日は、午前9時15分に本日お集まりいただきました場所にご参集いただきますよう、よろしくお願いいたします。

委員長： それでは、少し時間を超過してしまいましたが、本日の選考委員会をこれで終了させていただきます。

ありがとうございました。

—了—